日本の宗教における宗教的自由の歴史について、特に近代以降のイギリスにおける宗教改革の影響について考察する。日本の宗教自由の歴史は、19世紀以降の西欧の影響を受けて発展してきた。イギリスの宗教改革は、16世紀から17世紀にかけて行われ、この改革は旧制度の宗教体制を崩壊させ、宗教の自由を追求する運動に繋がった。

日本においても、19世紀以降の欧米の影響を受けて宗教的自由が追求されている。特に明治時代以降の日本では、宗教の自由が保障され、複数の宗教が認められた。しかし、日本における宗教的自由の歴史は、常に課題とされており、今後もその課題を解決する必要がある。

宗教的自由の歴史は、社会の変化と密接に関連している。今後、宗教的自由の歴史を学び、その課題を解決するためには、社会の変化を理解することが必要である。